

文部科学省大学間連携共同教育推進事業

# 京都三大学 教養教育研究・推進機構

## —時代が求める新たな教養教育

Institute of Liberal Arts and Sciences  
Kyoto Institute of Technology, Kyoto Prefectural University,  
Kyoto Prefectural University of Medicine

### 時代が求める新たな教養教育の構築

京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学の国公立三大学の連携の取り組みは、すでに10年近い歴史があり、教養教育についても、平成17年に「中間まとめ」として、現在の取組の骨格にあたる内容がまとめられています。

本取組では、それぞれの大学の特徴・強みを活かしたカリキュラムを提供することにより、学生の多様な関心に応え、総合的に物事を観察し、的確に判断できる能力と豊かな人間性の涵養を図っていきます。平成26年度には、各大学が提供する科目によって、科目選択の幅が大きく広がり、学生のより多様な関心に応えることが可能になります。

# 京都三大学共同教養教育について

グローバル化の進展などによって、社会全体の枠組みが大きく、かつ急激に変化しています。また、国民全体が幸福感や社会関係のあり方を深く問い直す状況が広がる一方、「人を思いやる心」や「人と人との絆の大切さ」を社会に再認識させるものとなっています。

このような時代の転換点にいるという認識を踏まえ、事業の基本的な方向性を決めました。

共同化した教養教育カリキュラムでは、専門教育を支える幅広い基礎知識の獲得のほか、現代社会における市民性の涵養という観点に照らした「知の共通基盤」、「人間性の基礎」を培うことを目的とし、具体的には、①異なる価値観や視点を持つ他者と協働する力としてのコミュニケーション能力及び相手を思いやる心、②自ら問題を発見し、それにコミットするとともに、「正解」のない問題についても、学際的な視点にたち、多様な見解を持つ他者との対話を通して自身の考えを深め、解決に向かって行動する能力、③グローバルな局面で、文化や言語を異にする他者と交流し協働する能力を備えた人材を育成することを目標としています。

三大学教養教育科目の授業内容において、想定される取組の一部は次のとおりです。ここで開講される科目は、すべて学生が自大学の授業として受講できます。

## 1. 三大学のリベラルアーツ系科目の共同開講

三大学それぞれの既存のリベラルアーツ系科目の中から、学生が自大学の授業として学べる科目を開講します。スタート時点で、前・後期合わせて60科目を予定しており、共同化の中心的なカリキュラムとなります。

## 2. 京都学や人間学など学際的科目の開講

三大学にまたがる学問分野の広さを生かし、単独の大学では実現困難であった、学部・大学の垣根を超えた学際的な科目の開講をめざします。

### 〔想定科目例〕

● 京都学(京都の歴史、文学、農林業、伝統産業と先端産業などを、体験的なプログラムも含めて学ぶ。26年度開校予定)

その他に、人間学、生命科学、健康学、心理学など、新しい科目の開講の可能性を検討し、また、社会の変化に対して自主的、積極的に対応できる能力を獲得させるため、三大学の学生が共に学ぶゼミナールの開講を検討します。

## 3. 異分野・地域連携教育の実施

学術・文化・伝統工芸・地場産業等、京都の特質を生かし、地域に密着した生活の技術・思想・倫理や人間と環境の関係、地域の持続可能な発展などをテーマとした、地域の団体・機関と連携した演習の開講を検討します。

## 4. 豊かな国際感覚を育成するための外国語授業の実施

ひきつづき、各大学における少人数・クラス制の授業により、質の高い語学教育を進めながら、共同開講の利点に応じた科目開設を検討します。

本取組を推進する「京都三大学教養教育研究・推進機構」には、共同教養教育の内容・方法の研究・開発にあたる「リベラルアーツセンター」と、教育の質保証にかかわる事業を担う「教育IRセンター」が設置されています。



# 京都三大学の紹介



## 京都工芸繊維大学



京都工芸繊維大学学長  
古山 正雄

京都工芸繊維大学は、京都高等工芸学校および京都蚕業講習所に端を発する110余年の歴史の中で、「知と美と技」を探求する独自の学風を築き上げてきました。この栄光ある歴史に新たな一頁を加えるべく、豊かな人間性にもとづく技術の創造をめざして技を極め、人間の知性と感性の共鳴を求めて知と美の融合をめざし、教育研究の成果を世界に発信

しています。本学の特色としては、ものづくりを基盤とした「人に優しい実学」を目指した個性ある教育研究を行っているところです。



## 京都府立大学



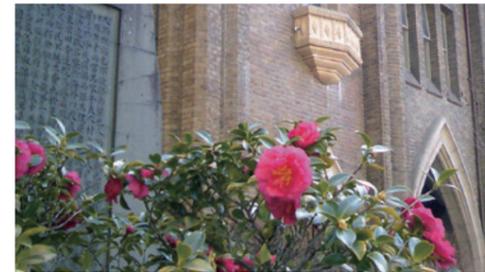
京都府立大学学長  
渡辺 信一郎

京都府立大学は、人文・社会・自然にかかわる三つの学部を備えた小さな総合大学ですが、2008年4月、「京都府立大学の理念」、および理念をふまえた「京都府立大学行動憲章」を制定しました。行動憲章の前文には、「長い文化的伝統を持つ京都の地において、本学が百十余年にわたって府民に支えられつつ学問の府として活動してきた歴史を踏まえ、学生とともに、これからも京都府の知の拠点として、

その使命を果たし続けます。そして、自主自律の精神のもと、大学人の自覚を持ち、豊かな知性と教養、高い専門能力と倫理的判断力を備えた人材を育成し、高度で独創的な研究を推進することによって、自然との共生をはかりながら、地域社会の発展と府民生活の向上、さらには人類の幸福に貢献します」とうたっています。京都の静かな環境の中で、少人数の充実した学生生活をおくり、堅実な学風を身につけて社会で活躍したいと思う高校生・社会人の皆さんには、是非府立大学に来て学んでいただきたいと思います。



## 京都府立医科大学

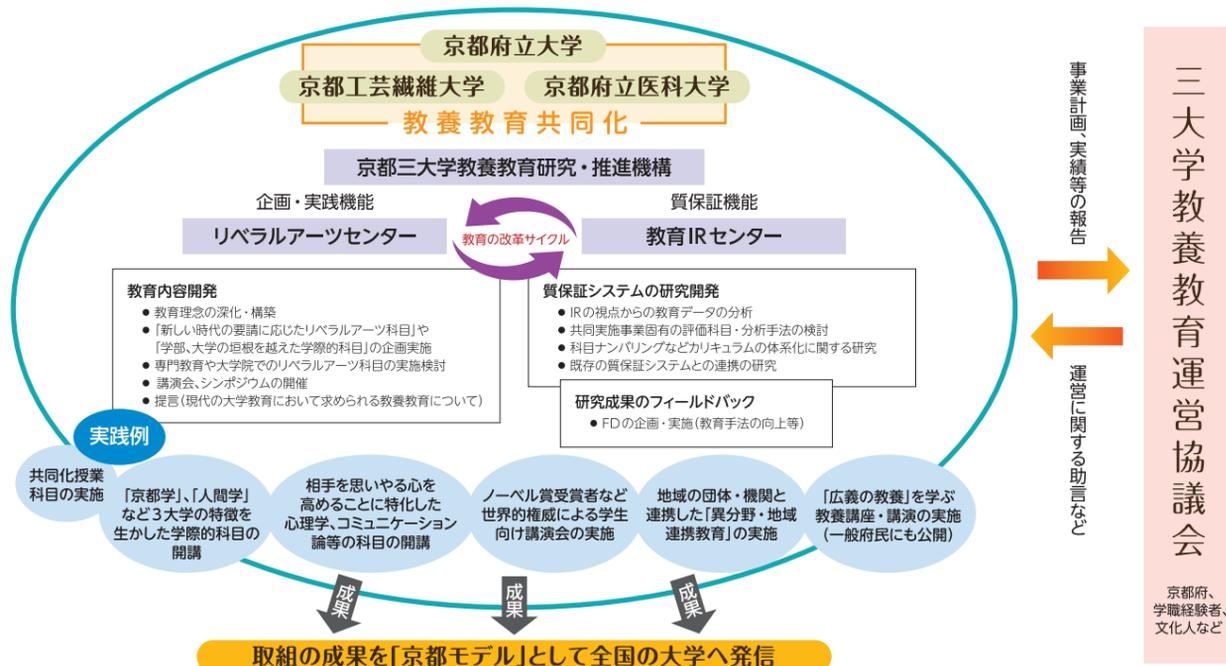


京都府立医科大学学長  
吉川 敏一

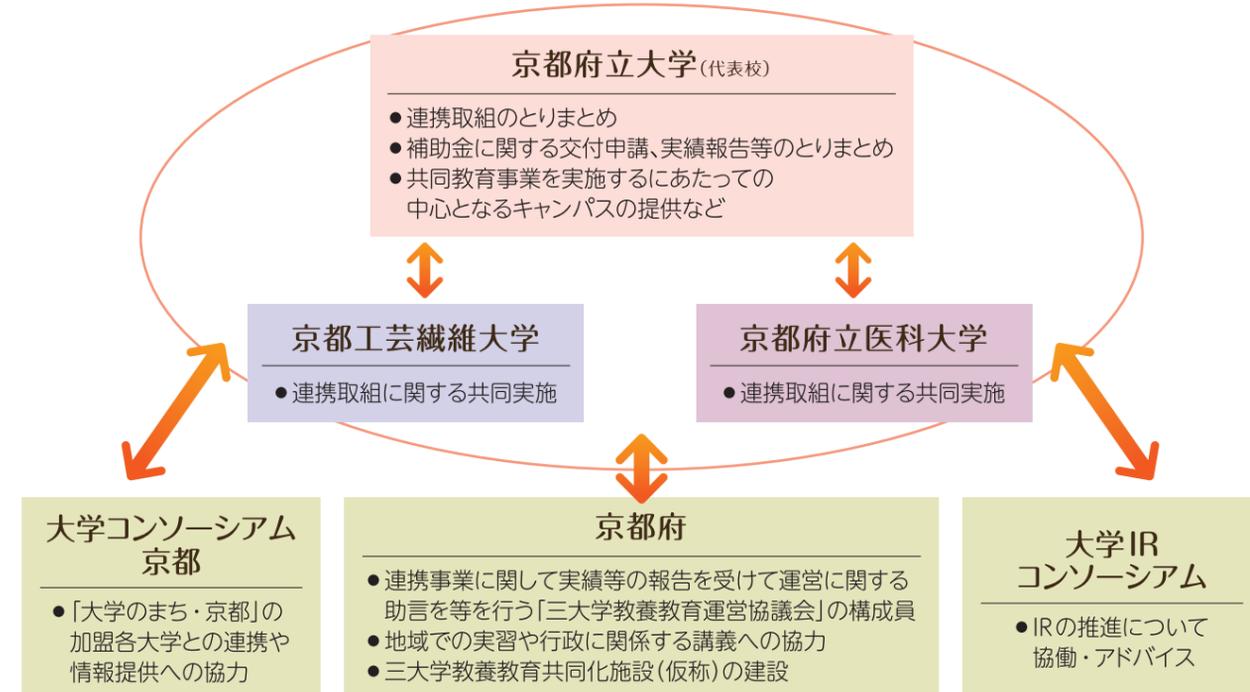
京都府立医科大学は、1872年(明治5年)、府民自らの寄付によって、京都東山の青蓮院に建設された療病院から誕生した日本最古の医科大学です。以来、時代に翻弄されながらも、140年の歴史の中で培った「人間愛」「地域貢献」「国際的視野の涵養(かんよう)」という教育理念は変わることなく引き継がれ、京都、日本、そして世界の人々の健

康に貢献する人材を育成し、全人的な医療を実践してきました。今も残る校章の「橘(たちばな)」は、「誠実と忠誠」の象徴。季節は巡っても変わることなく鮮やかな緑の葉をつける橘に、京都府立医科大学が、常に医学の真理を探究し、府民への変わらぬ仁慈の愛を持ち続けていることを託しています。

### 京都三大学教養教育共同化による「新しい時代の要請に応じた教養教育」の実践



### 機構の構成について



# 平成24年度における公開研究会・フォーラム・視察

## 公開研究会・フォーラム

2012年  
12月27日

### 第1回公開研究会

「高等教育機関連携による「地域学」と教育の共通化  
—キャンパス・コンソーシアム函館主催 合同公開講座  
「函館学」の運営を手がかりに」

講師：キャンパス・コンソーシアム函館運営会議副座長・  
函館大学商学部教授・田中浩司氏



2013年  
2月3日

### 三大学教養教育共同化フォーラム

「時代が求める新たな教養教育を考える」

プログラム：京都3大学交響楽団の演奏によるオープニング、山田啓二京都府知事のごあいさつ、昭和女子大学学長・坂東真理子氏講演、坂東氏と京都大学名誉教授・上杉孝實氏による対談



2013年  
3月8日

### 第2回公開研究会

「教養教育の新たな展開を探る  
—松本大学の地域連携教育に学ぶ」

講師：松本大学学長・住吉廣行氏、総合経営学部長・木村晴壽氏、  
同観光ホスピタリティ学科教授・白戸洋氏



2013年  
3月19日

### 第3回公開研究会

「生命倫理から臨床倫理へ  
—医学部/他学部の教養教育の一例として」

講師：浜松医科大学教授・森下直貴氏



2013年  
3月28日

### 第4回公開研究会

「二枚貝で生涯学習を体験—リベラルアーツの原点に戻る」

講師：京都大学総合博物館長・大野照文氏および  
大野氏と京都工芸繊維大学美術工芸資料館長・  
並木誠士氏による対談



## 視察

2012年 11月 26日	同志社大学視察
12月 5日	国際基督教大学視察
12月 14日	大阪大学・全学教育推進機構視察
12月 14日	大阪府立大学視察
2013年 2月 26日	名古屋大学・教養教育院視察
3月 26日	筑波大学視察



筑波大学「現代人のための科学」で  
討論する学生たち

※ 平成25年度においても公開研究会やフォーラム(11月16日、1月25日予定)、  
筑波大学授業見学や東京大学21KOMCEEなどの視察を行っています。

# 北山文化環境ゾーンにおける三大学教養教育共同化施設(仮称)の建設

京都府が平成21年に策定した「北山文化環境ゾーン構想」の中で、京都府立大学は、植物園、総合資料館、コンサートホールとともに、文化・学術・環境地区を構成する一要素として位置付けられています。現在、本事業のために、鉄筋コンクリート3階建ての教養教育共同化施設(仮称)の建設が始まっています。その施設を中心に、共同化科目の授業が展開され、文部科学省補助事業の平成28年度終了時には、取組成果を「教養教育 京都モデル」として全国に発信していきます。

## 教養教育共同化施設(仮称)

『北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告』より



Google maps より



教養教育共同化施設(仮称)完成イメージ図

1階には、3大学の学生が共同で学ぶための最大100~200名収容の講義室(計6室)や府民の方も御利用いただけるレストラン等が整備される予定です。

京都三大学教養教育研究・推進機構

TEL 075-706-5136 FAX 075-701-8820

Email / kyouyou@kpu.ac.jp URL / <http://kyoto3univ.jp/>